

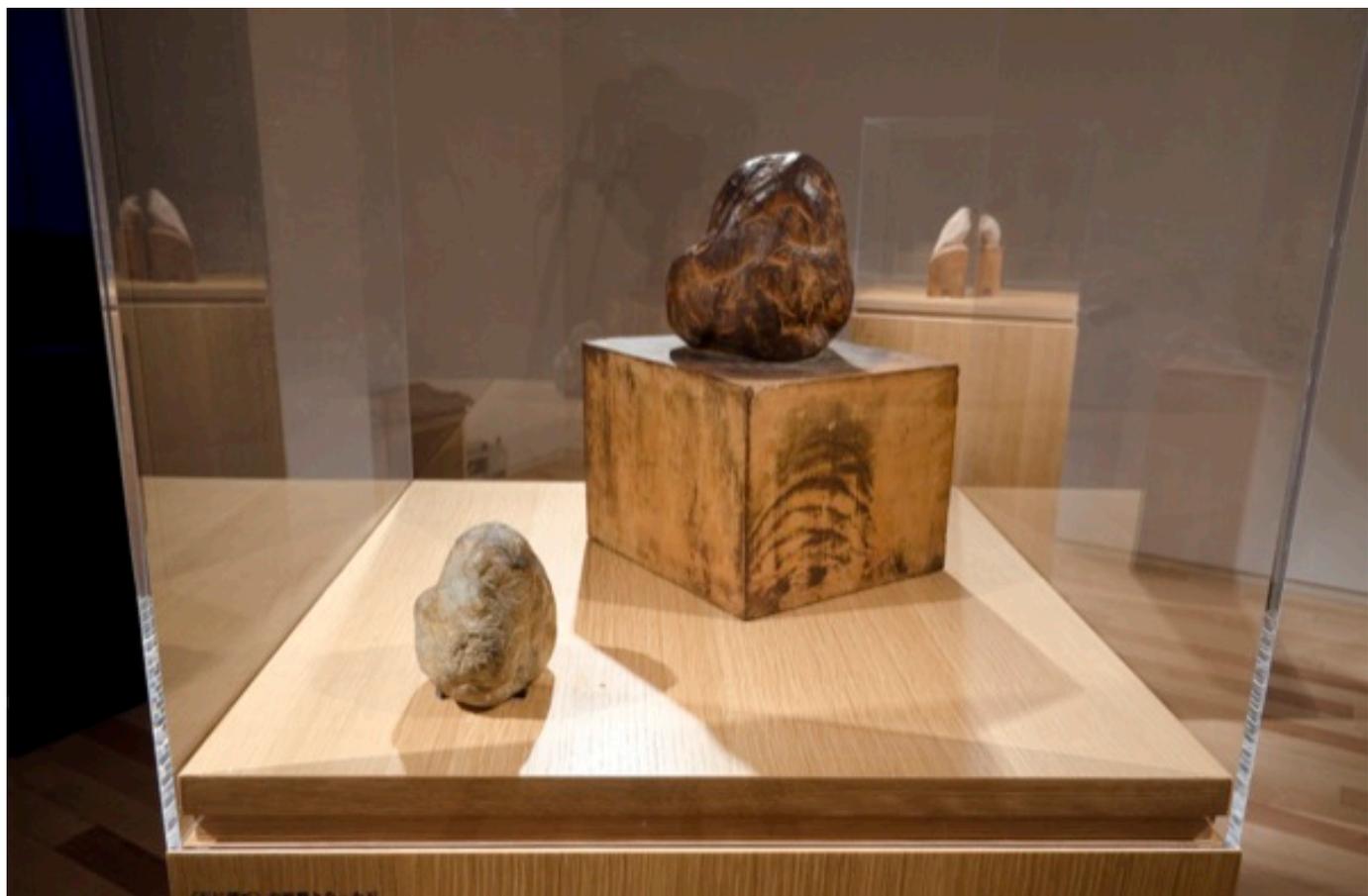
中高生クラス実習

「石に^{つい}就て」

橋本平八という彫刻家があります。彼は「石に就て」というシリーズでその辺に落ちている石を木彫で作るというユニークな作品を残しました。

なんの変哲もない自然の石を木で表現することに、橋本平八はどのような意義を見出していたのでしょうか。

今回の実習では教室の近くのどこかから石を拾ってきて、よく観察して粘土で形を作り、素焼きした後に絵の具で着色して本物と見分けが付かないぐらいに再現してもらいます。



作品：橋本平八「石に就て」

日時：[成形] 3月1日（土） [着色]素焼きした後に着色するので日時は後日お知らせします。

実習費：¥550（税込）[粘土代、焼成費、運送費込み]

必要なもの：汚れても良い服（すごく汚れることはないと思います。）

※石は3/1までに拾ってきてもらうか、当日教室の近くのどこかへ拾いに行きます。

担当：杉谷